第 72 号
発 行 元

社会福祉法人 松 楓 会
特別養護老人ホーム
コ ス モ ホ ー ム
〒197-0801
東京都あきる野市菅生
1159 番地
TEL 042-558-7010 (代)
FAX 042-558-5228
http://www.cosmoshome.jp/

ごあいさつ

介護支援専門員　松本　貴裕

初夏のすがすがしい季節、とは言い難く、今年は観測史上最短で梅雨明け宣言がされ、連日の猛暑が続いたかと思えば、全国的な記録的豪雨で天候が不安定であり、体調を崩しやすい日々が続いています。コスモホームのご利用者様の体調管理にもスタッフ一同、誠心誠意取り組んでおります。

先日、６月17日に群馬県、18日には大阪府で非常に大きな地震が発生しました。被災された多くの方々にお見舞い申し上げると共に、私たちも７年前の東日本大震災を教訓に今一度災害に対しての意識をもち、気を引き締めなければと感じております。

さて、今年４月に介護保険制度の大幅な改正が行われました。ご利用者様の負担も増え、また高齢者や施設を取り巻く環境も大変厳しくなってきています。介護保険料額が上がっているうえ、さらに８月からは収入等によってではありますが、ご利用者様の介護保険サービスの利用の３割負担が導入されることが決まっています。対象者は全体の３％と言われていますが、これは２０１５年に２割負担が導入されてからわずか３年のうちに改正となっています。理由はいろいろあると思いますが、年々サービスの利用者が増加傾向であり、さらに団塊の世代が75歳以上となる２０２５年に向けての費用増加を抑制、給付の適正化を図る目的であろうと思われます。介護保険制度を支えるうえでの大切な取り組みとはいえ、負担が増えることはこれまで日本を支えてこられた方々に対して苦しい状況を強いることに変わりはありません。

また、昨今の日本社会では様々な業種で人材不足や後継者の育成問題が話題になってまいりました。介護に於ける業界でも例外ではありません。高齢者を支える介護の担い手不足には深刻なものがあります。それに対して政府では介護ロボット導入の促進など様々な方法を提案しています。ロボットの導入は、介護者の身体的な負担を軽減してくれますし、ネットワークは広く世界の人と交わることの出来る道具として便利になると思いますが、反面とても寂しく味気ないものにも感じられます。

特に介護は「人」を、「心」を重視するものであり、温かい気持ちや手こそがご利用者様にとって安心で快適な刻を過ごすことに繋がると思います。

「機械」と「人の手」、その両輪のバランスをとることの重要性を忘れず、コスモホーム職員全体で新しいものを取り入れながら、真心のこもったケアを軸に時代を歩んでいきたいと思っております。

（平成30年７月吉日　草稿）

平成29年度　事業報告

【基本理念】

契約施設として「人が人であり続けられる為のサービスとは何か」に視点を置いて、「常にお客様の立場に立って」・「ご家族と一体となって」を基本とし、「常に笑顔」・「お声掛けを多く」をテーマに施設サービス及び地域のサービスに努めました。

【平成２９年度　重点目標】

○重度化、入院者増加時代への対応強化

お客様の日々の心身の変化に注意し、変化時の早期発見・早期受診対応に努めました。
その結果、延べ入院者数も減少し、また、延べ入院期間についても前年度と比べると短くなりました。
この事からも、早期の対応により短い入院期間で退院できました。また、お客様の筋力や関節の動きなどについても注意深く観察を行ない、お客様自身の努力があった事はもちろんですが、日々の生活動作時において介護職員による一方通行なケアにならないようご自身の力を応援し、また個別のリハビリ訓練を行った結果、比較的身体機能が維持されている方が約８０％おられました。

○お客様とご家族様との信頼関係の強化

年に３回の家族招待行事の中で２回の家族懇談会を開催しました。
家族招待行事は春の「皐月の集い」、９月の「敬老式典」、１２月の「コスモズパーティ」でした。
１回目、春の「皐月の集い」後の家族懇談会では、コスモホームの近況、介護保険制度を含む社会の動向、感染症の予防対策、今後の予定などをご案内いたしました。２回目の１２月の「コスモズパーティ」後の懇談会では、ご家族様からのご質問やご要望などは特別聞かれませんでしたが、毎年、年末年始を迎えるにあたり、ご家族がお仕事や国内外の旅行などで連絡が取りにくくなる事を懸念し、ご家族と常に連絡が取れる体制を目的とした緊急時連絡先の再確認をしております。

○危機管理体制の強化

常にリスクの有無を意識し、予測を立てながらして「予防する」事に取り組みました。その代表的な項目ですと、感染症の予防対策や転倒や打ち身など、お怪我につながる事についての対策などがあります。リスクを予測して対策を立て、また施設内外の職員研修や委員会活動を継続する事で、感染症を予防し、お怪我などの件数も年々少なくなってきております。

○利用者サービス

お客様が季節を感じられる行事を毎月のように企画し、また華道や書道、音楽、手作業、ゲームなどのレクリエーションを行ない、時にはオプション行事として、そば打ち、スペシャルランチ、出前デー、一泊旅行などを企画し、また、地域から毎週火曜日においでいただいている「コスモゴールデンクラブ」の皆様とご一緒の活動など、お客様にとって変化のある楽しい生活を創造してまいりました。

○地域密着型通所介護事業（デイサービス事業）

定員１０名の小さなデイサービス事業でしたが、年々実利用者人数が減りました。平成２９年度に入り、様々な対策を講じても新規のお客様が得られず、５名前後のお客様しかおいででない日もあり、実績の上昇が見込めませんでした。基準職員の配置を遵守する上でも事業としての継続が難しくなり、平成２９年１０月１日から半年間は事業を休業し、その間利用されていたお客様につきましては、担当ケアマネージャーの手配により他の通所介護事業所に移動、休業中の半年間、事業再開に向けて検討会を重ねました。他の事業所に移られたお客様が問題なく過ごしておられるかを確認しましたところ、皆様、お元気に通われている事が確認でき安心した次第です。そんなさまざまな通所介護事業の状況を踏まえ、半年間の休業を経て平成３０年３月３１日をもちまして、事業廃止の届け出をいたしました。
今後も地域ニーズを調査し、近隣のご高齢者の方々を支援すべく、事業再開の努力を続けていきたいと考えます。

行事紹介

端午の節句

手作りの兜を被り、五月人形の前でハイ、ポーズ！！

出張販売

「どれが似合うかな？」お買い物を楽しまれました♪

七夕

短冊に願いを込めて・・・

映画鑑賞会

昔懐かしい時代劇や紅白歌合戦をご覧頂きました！

平成２９年度決算報告書

貸借対照表（平成３０年３月３１日現在）　（単位：千円）

資産の部		負債の部	
勘定科目	金　額	勘定科目	金　額
流動資産	95,918	流動負債	49,466
固定資産	575,802	固定負債	22,377
		負債の部合計	71,843
		純資産の部	
		基本金	164,999
		国庫補助金等特別積立金	151,457
		その他の積立金	286,557
		次期活動収支差額	△3,136
		(うち当期活動収支差額)	△22,041
		純資産の部合計	599,877
資産の部合計	671,720	負債・純資産合計	671,720

事業活動計算書（自平成２９年４月１日～至平成３０年３月３１日）　（単位：千円）

区　分	収　入　額	支　出　額	差引額（A）
サービス活動	395,108	417,374	△22,266
サービス活動外	716	171	545
特別収支	150	470	△320
合　計	395,974	418,015	△22,041
当期活動増減差額		(A の合計)	△22,041
前期繰越活動増減差額		(B)	2,525
その他の積立金取崩額		(C)	16,380
次期繰越活動増減差額		(D)	△3,136

資金収支計算書（自平成２９年４月１日～至平成３０年３月３１日）　（単位：千円）

区　分	収　入　額	支　出　額	差引額（E）
事業活動	395,824	408,890	△13,066
施設整備等	6,198	22,640	△16,442
その他の活動	16,615	2,271	14,344
合　計	418,637	433,801	△15,164
当期資金収支差額		(E の合計)	△15,164
前期末支払資金残高		(F)	75,880
当期末支払資金残高		(E＋F)	60,716

〈編集後記〉

活発な梅雨前線による西日本を中心としたこのたびの豪雨災害に際し、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

コスモニュース編集委員会

平成２９年度の御寄附・ご寄贈につきましては、御家族・御遺族・商店、その他にも多くの皆様より頂戴致しました。

＊平成２９年度寄附金総額：441,030 円

誠に有難うございました。心より感謝申し上げます。